



らばい通信

Lullaby News

2021年
春号

特集
『親子』

マスクなしの日きっと来る。
それまでお願いがまんして。



画／大野隆司

[目 次]

- 特集「親子」
 - 熊に助けられた幼児期
 - 独立心だけを植えつけてくれた父
 - 入れ歯のすごさ
- ESSAY／地球を買ったら
- 連載 直島便り 第13回
「今年も春が来た」
- 連載 世界子守唄紀行 第28回
「ナイジェリアの子守唄」

中山 寛	…1
赤塚 不二夫	…2
神長倉 万美子	…4
米野 宗禎	…5
山根 光恵	…6
鶴野 祐介	…7

- INTERVIEW／産後ドゥーラというお仕事 佐々木 和美 …8
- 絵解き 風流子ども歳時記 「春が来た」唱歌の巻 尾原 昭夫 …10
- COLUMN／ 映画「瞽女GOZE」にみる親と子の愛情 国見 修二 …14
- INFORMATION／CD・書籍 紹介 …16
- 活動報告 …17
- 寄付者名簿

2021年4月発行

連れ去ることで、私が和やかにやがていたりすよ。それも日本一の大親分の下で働かせてもらつて、一時は私の下に2000人の子分がいたことがあります。私はアイヌ出身ですから、北海道のやくざを束ねていた時期もあります。

なんでやくざになつたかって？その話は、子どもの頃にさかのぼつちゃう。小学校の低学年のときに、母親と別れました。夫婦のことに干渉したくなけれど、大人には大人の事情があるので、ここではよくわからないことにしておきましよう。

父親という人はとにかく怖い人……。力がすごかつた。すぐに新しい妻が来て、私にとつては養母、繼母ですが、この母親は本当に優しかった。無類に優しい人でした。

それが父親にとつては面白くなくて、私に暴力をふるう結果になつたのかもしれない。

とにかく私が目障りな存在で、いじめること

それでますます父親が怒り、さらに暴力がひどくなつた。当然逃げますよね、こつちは。北海道だから周りは山しかない。走つて走つて、疲れ切つて倒れてしまつた。気が付いたときは、何かあつたかい。なんだと思っていたら、黒い熊の体に包まれていたんです。

びっくりするより、心地よかつた。恐怖もなく、熊の目を見たら優しい目をしているんですよ。

本州の人からみたら、驚くでしょうが、森つて怖

父親は、金がなくなっていることに気づき、私の後をつけて森までやつて来た。そこで熊を見たわけです！

びっくりしたより先にどうしたかっていうと、私の知らないときにやつてきて、熊を射殺した挙句、その皮をはいでしまった。正直許せなかつた。いつか、この父親を殺そうと心に決めました。

今考えれば親父も何かに怯えていたのかも

次の日、熊は砂糖を買つて、砂糖の前に砂糖屋で砂糖を買って、熊の穴の前に砂糖を買つてきました。その後、私と熊との密談がなかった。嘘みたいな話ですよ。ね、熊に抱かれていたなんて。そのとき熊にサヨナラして家になりました。



特集 『親子』

「縁あってこそ、親子になり、未来永劫この関係は変わりません。様々な親子関係のドラマは展開され続け、人生を織りなしていきます。不思議さと予期せぬ事態の連続の中に親子は一緒に歩き続けるのでしょうか？」

九〇

今井・全
ららばい通信 春号をお手元にお届けさせていただきます。

東日本大震災から10年が経ちました。雪が降り、大津波に襲われた気仙沼、陸前高田を訪ねたのは被害が起きて一ヶ月後の四月でした。あの年の四月は寒かつたと記憶していますが、今年は三月なのに、春気めいてうららな陽に桜まではつぼみを色づかせていました。

三月十七日、私は震災の後方支援で活躍した遠野を訪ねました。

コロナ禍のため、自由に歩くことは出来ませんが、少しでも被災地のそばに行ってるつもりでした。同じ時期、数日前に大きな地震があり、変更、ダメとなつた新幹線は思ひのほか混んでいて、おまけに花巻からの釜石線は強風

「あの頃が今となると懐かしい。皆が同じに裸になり、寄り添わなくては到底生きていけないという思いがいつしょだったから。でも今も当時と変わらないのは一緒に津波にあつた猫くらいかしらね。でんでん散り散り、良くなつた人も悪くなつた人も勝手に生き始めたて感じかしらね。あの頃生まれたばかりの子も十歳、いっぷし理屈云うし、津波の怖さは知らない。云つて聞かせようとするとぐどいなんて言われて、私は又津波来るんじやないかって今もおちおち眠れないのよ。妹は、住職が亡くなつて

東北の春

日本ららぽーと協会 理事長
西館 好子

亡くなつて

令和3年

卷之三

卷之三

しれない。アイヌへの差別や社会からの重圧とか、家族への不安感とか、分から深い闇があつたと思うんです。

そんな父親のもとからの逃避が、やくざに走らせたかもしれないけれど、それは私の問題で、そのせいぐれたなんて言えない。

自分の中では、むしろ、日本一の大親分との奥さんに助けられ、励まされ、成長したのだと思つて。特に、親分には人のためになる任侠の生き方を、奥さんからは生活の知恵や、じつさい若いとき結核で死ぬと覚悟していたのが、部屋を与えて治療までしてくれました。他人が何と言おうが、義理や情というものの本質を教えてもらつた。いわば親つてこんなものかなあ、こんなものであつてほしいって思い続けてきました。

そりあ、やくざと言えば、切つたはつた、女を犯したり、弱い者いじめしたり、とアウトローとして、下の下に見られる。確かに、そういうもの中にはいるけど、とてもない大勢の子分が付くような人には、それなりの「心」がなきや、組なんてできませんよ。

私も外国に売られそうになつた女子たちを助けるに密航船に乗り込んで大立ち回りしたのがもとで刑務所にも入つたけれど、迎えて優しくしてくれたのは親分と奥さんでした。

ええ? 今どうしているかって。もう、二人とも亡くなつてしまつたが、それから、やくざも卒業して、社会で本当に困つている人を助ける人間になりたいと思って、一人で車を走らせて人助けに回つています。

暗い世の中、黒い世の中、欲と業にさいなまれている人間の世界は、人のためになろうと思つたら、犠牲など考へないで真摯に立ち向かう自分であります。ベンツの後ろに虐待防止や相談案内ポスターを貼つて走り回つてたよ。私はアイヌ出身でもあるので、アイヌの人たちの相談も引き受けている。

今どうしているかって? 嘘じやなく、世界で困つている要人たちの護衛などもしています。あとは、月に2回は、富士山にお参りして、いは、いわば私の母親たち。養母とやくざのときは、も引き受けている。

暗い世の中、黒い世の中、欲と業にさいなまれている人間の世界は、人のためになろうと思つたら、犠牲など考へないで真摯に立ち向かう自分であります。そこに祀られているコノハナサクヤヒメは、いわば私の母親たち。養母とやくざのときは、も引き受けている。

お母さんの2人だと思って、墓参りの気持ちで、手を合わせます。

父親は、生前、私がやくざになつていて、今まで幅を利かせているという噂を信じて、自分のところにやつてくるのではないかと、ブルブル震えていたと、誰から聞きました。死ぬまできつと私の存在を怯え続けていたんだでしょうね。

親子って血だけじゃない。情の中にしか育たない、小さなことの積み重ねで、親子になつてゐるだけと思う。2人の母を思い出しては手を合えていたと、誰から聞きました。死ぬまできつと私の存在を怯え続けていたんだでしょう。

独立心だけを植えつけてくれた父

漫画家 赤塚 不二一夫（2008年没）

小さい頃、お父さんやお母さんから言われた言葉をおぼえていますか。母親の腕の中で聴いた子守唄と同じように、遠い記憶の中におぼえている一言があるのではないでしょうか。1980年に出版された『私を支えている 母の一言』（日本国際連合協会編）より、赤塚不二夫さんによる親子の絆の記録を抜粋してみました。

四月の入学シーズンに、僕はこういうギャグ漫画を書いた。

大学に合格した息子と母親が、入学式に出席する次の町が指定されるという具合で、僕の一家は長くて一年、だいたいは半年足らずでいつもその周辺の国境の町を転々としていたのである。

（中略）

ただ父はそういう職業柄か、とても厳しい人であった。本来は人情刑事だったのだが、是非々のけじめだけははつきりつけていた。当時、父の許へは、いろいろな贈り物が届けられた。それは部下からのお中元やお歳暮であつたり、情状酌量で見逃してやつた共産党の人たちの母親からものだつたりである。だが父は、けつしてそういう品物を受け取ろうとはしなかつた。たとえそれが鶏卵五個とか十個であつても、ある。北満の辺境の地で、卵と言えば僕らには最大のごちそうであった。

（その後、終戦になり、父はソ連に抑留された。赤塚一家は母子四人で引き揚げ、子どもは親戚の家に別々に預けられた）

僕ら親子が一家揃つて同じ屋根の下で生活するようになったのは、昭和二十五、六年、父がようやく抑留生活を終え、帰国してきてからであつた。父が帰国した晩、久しぶりに全員揃つた食卓で、父は一同を見回して静かに言つた。

「これからは、みんなで頑張つていこうな」

あの厳しかつた父とは思えぬ穏やかな口調であつた。そしてこの言葉は、それから後もことあるごとに聞かされた。そのせいだろうか、僕ら兄弟は、独立心だけは旺盛になつていつた。家が貧乏

たり母親の後についていた息子が、ちょっと周囲の景色に見とれた隙に、母親だけが信号を渡つてしまつた。大学生になつたばかりの息子と母親は、道路をへだてて向うとこっちにいるわけである。やがて歩行者専用の信号が青に変わる。だが息子は、そこに立ちすくんまま渡ろうとしない。

母親「どうしたの。早く横断歩道を渡つてこつちにいらっしゃい」

息子「ママ。ママがそばにいないと、ぼく。歩き方がわからないよ」

歩き方がわからない——など、現実にはありうべからざることである。ありうべからざること



入れ歯のすぐーさ

日本ららばい協会理事 神長倉 万美子

私は、長男を出産したときも長女を出産したときも、産後1ヶ月で会社に復帰した。それが出来たのは、祖父母のおかげである。私は生後1ヶ月の子を、毎朝、歩いて10分の祖父母の家へ預けに行つた。祖父母も曾孫の面倒をみるとことで、新たな生きがいを見つけてくれたのではないかとも思う。けれども預けられなければ、仕事に復帰することは出来なかつた。

長男が生まれたとき、祖母は70歳だつた。私の子どもたちは、年寄りの存在がとても身近だつたので、自然に人と付き合い方を身につけて帰るといふに思つた。

息子のカズキの保育園の連絡ノートにこんなことが書いてあつた。

今日は、みんなでおじいちゃんの自慢話ををしていました。

ヒロくんが、「うちのおじいちゃんは社長なんだぜ。すうまいだね！」と語り、ケンちゃんも「うちのおじいちゃんも社長だよ」と語りました。あとカズキくんが、「うちのおじいちゃんが1番すごいんだって、歯を全部外せるんだぜ！」

と語つたのです。歯を外せることは、入れ歯のこと。子どもたちはみんな「すげえ」と口をあんぐり開けていました。

娘についてもびっくりしたことがある。祖父の靴をちょっと左右の間隔をあけて履きやすいように揃えるんですよ。いい教育をなさっています

けると言うと、先に玄関に行って、おじいちゃんの靴を教育したのではない。これは間違いない

私が教育したのではない。これは間違いない祖父母の影響であり、子どもたちが日ごろからたくさんもらつてゐる愛情に、自然とお返しをしたのだと思う。

96歳になつた祖父が肺炎で入院していたとき、夜中に電話が鳴つた。容態悪化の知らせだったが、息子は跳ね起きる

と、電話に出るよりも早く、玄関を飛び出して病院に向かつた。

「うちのおじいちゃんも社長だよ」と、電話に出るよりも早く、玄関を飛び出して病院に向かつた。

96歳になつた祖父が肺炎で入院していたとき、夜中に電話が鳴つた。容態悪化の知らせだったが、息子は跳ね起きる



イラスト／堀田一心

お医者さんが祖父に懸命に処置をしている様子を見たのは、身内で息子だけである。主治医の若い先生は息子に「家族に囲まれて死なせてあげられないなくて、申し訳なかつた」と言つたそうだ。

息子はその後、医者になつた。

私は出産したという意味では親である。しかし、しつかり子育てをしたのだろうか？ 仕事を追われ、心に余裕がない中で、子供を育てた。ときに必要以上に子どもを叱りつけることもあつた。でも子どもたちにはいつも逃げ場がついた。曾祖父母や祖父母が私に代わつて守つてくれたのだ。

出産して、子どもという、自分より大事なものがあることを、私は教わつた。そして子育てをしてきたというより、子どもに私が人間として成長させられたのだと思う。

近頃、娘に「やることがおばあちゃんそつくり」とよく言われる。祖母と同じようにベランダの植木をいじり、休みの日になると祖母のレシピを再現する自分がいる。こうやつて血は脈々とつながつていると感じる。

子どもたちが巣立つた今、今度は私が恩返しをする番だと思う。私には子育ての間、祖父母がいた。両親がいた。親戚がいた。近所の人たちがいた。みんなが私の子どもたちを育ててくれた。

子育てには、親だけではなく周りの存在が不可欠である。実家が遠いため、近所に話し相手がないなくて孤独を抱える親や、虐待してしまった親、また虐待されている子どもに、役に立てることがあります。あるなら、今度は私が力になりたいと思う。

地球を買つたら

公益社団法人米沢有為会相談役 米野 宗禎



私が幼稚園の園長をしていた時の強烈な思い出の一コマです。ある晴れた日、園庭に出ると「園長先生」と子どもたちが集まつてきました。太陽のめぐみをうけて、子どもたちが飛び回つてゐるのは、自由に伸び伸び遊べる環境で保育をしたいという思いからですが、集まつてきた子どもたちに

「地球を買つたら」と5歳の男の子が言いました。「地球を汚すと人が住めなくなるし、みんなもこんな風に外で遊べなくなるよ」という話をしました。

「地球を買つたら」と五歳の男の子が言いました。「そうだよ買つてしまえばいいんだよ」周囲の園児たちが「そうだそうだ」と口を合わせました。

「きれいな地球を買つたら」東京に行けば売つているかも、園長先生、今度東京に行つたら、買つてきてよ

話は飛び火してしまつた。

蓋し名言であると学びつつも、何でも買える、こんな子どもたちに誰がした。と、物、金に汚染された子どもたちの言動にショックを受けました。

私は山形県の曹洞宗の寺の生まれですが、僧侶として、なぜか「良寛和尚」が時々心に偲ばれます。

「地球を買つたら」

「散るさくら残るさくらむちるさくら」世界の論評に押されてか、菅総理は所信表明で「二〇二〇年までに温室効果ガスを全体としてゼロ、工場から出る実際の排出量と植物や海洋などの自然による吸収が釣り合つた状態にする」と宣言しました。いや、もっと早くに守られるこ

とを希望しますが、さて。世界第二位の経済大国だった日本は今や環境み戦い最中です。世界の知識人たちは地球温暖化による気候変動や自然破壊の責任は人間にあります。そして今人類に新たに出現した「コロナ禍」で苦しんでいます。世界の人間らしさを今、老生になつて自分自身に心に沁みて感じています。

「災難に遭う時節には、災難に遭うがよく候、死ぬ時節には死ぬがよく候、これは災難をのがる妙法にて候、かしこ。」

あくまでも自然に沿つて生きようとする日頃とつとも子供の純真さを大切にしていたからの言葉でしょうか。

「散るさくら残るさくらむちるさくら」

これは良寛和尚の辞世の句。自然のままにと遊んでいた良寛は、故郷越後でマグネチユード6.9という激震を体験しています。死者1443人、ご自身がこの無事であったことを友人に宛ててこんな書信を残しています。

「災難に遭う時節には、災難に遭うがよく候、死ぬ時節には死ぬがよく候、これは災難をのがる妙法にて候、かしこ。」

あくまでも自然に沿つて生きようとする日頃とつとも子供の純真さを大切にしていたからの言葉でしょうか。

● ● ●

世界の論評に押されてか、菅総理は所信表明で「二〇二〇年までに温室効果ガスを全体としてゼロ、工場から出る実際の排出量と植物や海洋などの自然による吸収が釣り合つた状態にする」と宣言しました。いや、もっと早くに守られるこ

とを希望しますが、さて。世界第二位の経済大国だった日本は今や環境み戦い最中です。世界の知識人たちは地球温暖化による気候変動や自然破壊の責任は人間にあります。そして今人類に新たに出現した「コロナ禍」で苦しんでいます。世界の人間らしさを今、老生になつて自分自身に心に沁みて感じています。

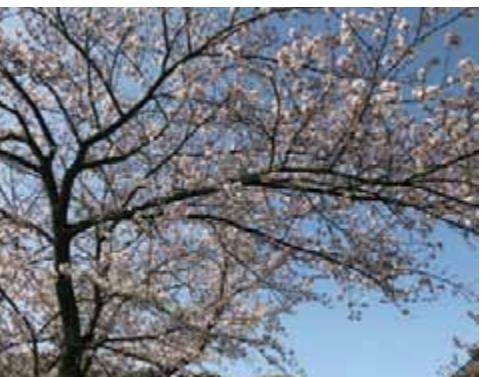
● ● ●

</div

今年も春が来た



南無庵　庵主　山根　光恵
山口県長門市出身
浄土真宗本願寺派 布教使



一日一日と暖かくなってきた。
昨年の春はコロナのことが話題になつたが、まだその後の大変さは想像もできなかつた。
その頃私は心臓発作を起こし、緊急入院のため満開の桜どころではなかつたのだ。

退院して戻つてきた桜は散つていた。
あれから一年、ここ直島でも、島中にあるふれていた外国人の姿を見ることはなくなつた。
日本人も緊急事態宣言下では、他県からくる人もいない。フェリーもガラガラ。民宿、飲食もみんな休み、ほんとうにひつそりした島になってしまった。

☆

高齢、病後の私は言われなくとも毎日が自肅生活。我が「南無庵」もひつそりした中に、庭の草は伸び放題。茶席の軸のごとく「春来草自生（はるきたりて草自ずから生える）のごとく」の有様。

気温の上昇と共に、庭といえども空き地としか表現できない庭だが、一雨降るごとに地面が緑に変わり、ぐんぐんと草が伸び始めた。自ら生えるといった悠長なものではない。

さて。この大量な草をどうしたら良いか？草刈り機で刈つたところで、ものすごく強い草がはえて、手に負えなくなるのではないか。雑草がはえる面積を減らすには何か、植物を植えるしかない。

そんな時、近くの飲食店の店先の一輪車に、大量の球根があつた。
「あれは？」と聞いてみたら「駐車場を広げたので要らない。誰かがもらってくれればよいのだが」というので、そつくりそのままいたくことにした。

暑い時期だったが、穴を掘り、南無庵の庭に植えることが出来た。そして、昨年秋の彼岸が過ぎたころ、葉っぱが寒さにもマケズぐんぐん伸びてきた。

二月には寒風にも負けず花が咲き始め、しだれ桜の根元にまるで裾模様のように、真っ白な花が満開になつた。

捨てられる運命の水仙が、土と水と太陽のぬくもりと光の「ご縁」をいただいて、見事に花を咲かせて、命を次の世代につなぐことが出来た。

考え方によつては、コロナもまた何かを繋ぎ、何かを教えてくれているのかもしれない。花を愛でながら、所詮、時間は前にしか進まないし、もとに戻ることは出来ないという生き物の時空を考え、どんなに苦しくても、今を頑張つて生きるしかないと季節の花に教えられる。

来年は三月に瀬戸内芸術祭が行われる。大勢の観光客は望めないかもしれないが、芸術は人の知恵を進歩させてくれるツールだとと思う。皆と一緒に手を取り合つて楽しいこと美しいと感度味わえる祭典になることを心待ちしている。

☆

それにしてもこのコロナ早く収束してほしい。ワクチンが日本にも届き、医療従事者、そして高齢者の順に接種すると言うがそれはありがたいことだけれど、若い人も早くしてあげて欲しい。南無庵でそんなことを考えて日々を送っている。

世界子守唄紀行

鵜野祐介（立命館大学教授）

第28回 「ナイジニアの子守唄」



前々回、前回と紹介した一九九三年五月放送の英國BBCラジオ3「ラバーズ（子守唄）」の番組冒頭に流れたのは、激しいドラム（太鼓）の音と手拍子に乗せて歌われる中央アフリカ共和国の子守唄だった。日本のいわゆる「江戸の子守唄」に「でんでん太鼓に笙の笛」という一節があるが、「こゝで打ち鳴らされるドラムの音量は郷土玩具でんでん太鼓のようない生易しいものではない。「これで本当に子どもは眠れるのだろうか?」と首をかしげたくなるほど圧倒的な迫力である。かくて、子守唄に対する「常識」を吹き飛ばそうとする番組制作者の「トラップ（罠）」にまんまと引っかかった筆者は、以後三十年近く「子守唄ってなんだ?」と自分に問いかける旅を今も続けている。

西アフリカに位置するナイジェリア連邦共和国にもドラム伴奏付きの子守唄が伝承されている。カナダのキャシュー・ベッグス（Cass-Beggs）夫妻編『民衆の子守唄（Folk Lullabies）』（一九六九）収載の「Yeke Omo Mi」の楽譜にはドラムの譜面が併記されており、ドラムとヴォーカルとの掛け合いで両者があたかも対話しているかのようだ。

ああ泣かないで　私の小さな宝物　ああ泣かないで　私の愛する宝物…
あなたのママは　ここにいるから　ああ泣かないで　私の愛する宝物…

川田順造『聲』（一九八八）によれば、サハラ以南のいわゆる黒人アフリカには「トーリング・ドラム（話す太鼓）」と呼ばれる、太鼓の音で言語メッセージを伝えられる文化が伝承されている。例えば、西アフリカの旧モン王国では王宮付きの樂師が九〇〇句余りもの長さの王家の系譜を太鼓の音だけで「語る」のだという。具体的には、音声言語が持つている音の高低・強弱・長短などの韻律的特徴を太鼓の音でなぞるのだが、黒人アフリカ社会のように、文字というものを用いず、サバンナや森林の物音を聞き分けることに敏感にならざるを得ない環境の下に「トーリング・ドラム」は発達したとされ、①遠隔伝達性（太鼓の音は人の声より遠くまで届く）、②秘儀性あるいはメッセージ受信者の限定性（特定の人同士にしか分からぬ）、③情動喚起性（莊重さや有難さを喚起する）といった効果があるという。

この社会の人びとは、感覺神經が研ぎ澄まされている。音声言語が持つている音の高低・強弱・長短などの韻律的特徴を太鼓の音でなぞるのだが、黒人アフリカ社会のように、文字というものを用いず、サバンナや森林の物音を聞き分けることに敏感にならざるを得ない環境の下に「トーリング・ドラム」は発達したとされ、①遠隔伝達性（太鼓の音は人の声より遠くまで届く）、②秘儀性あるいはメッセージ受信者の限定性（特定の人同士にしか分からぬ）、③情動喚起性（莊重さや有難さを喚起する）といった効果があるという。

ところで日本にも、ホトトギスやカラスなどの鳴き声に言語メッセージを聞き取る「聞きなし」の昔話や、アイヌ民族の「ホロルセ」や八丈島の子守唄「テテンクンクン」など鳥の鳴き声を模倣した「あやし言葉」を持つ子守唄をはじめ、鳥や虫や動物の鳴き声、風のそよぎや川のせせらぎなど身の回りの音環境に幼い時から慣れ親しむための仕掛けを持つ文化が数多く伝承されている。環境教育やSDGsの観点から子守唄の意義をとらえ直すこと、それは今後の重要な研究テーマになるに違いない。

【インタビュー】佐々木和美／聞き手・樋田敦子



—産後ドゥーラはどういうお仕事ですか。

女性にとって妊娠・出産は大仕事です。特に産後は、体の変化だけではなく、ホルモンバランスも変化するため、精神的にも不安定になります。日本では、4人に1人の母親が産後うつになりがち。スクがあるといわれ、特にこのコロナ禍の影響で人との接触を避けるため、そのリスクは急増しているといわれています。

また母親が孤立すれば、虐待にもつながりかねません。そんな母親たちの強い味方が、産後ドゥーラです。昨秋から産後ドゥーラとして仕事を始めた佐々木和美さん（34歳）にお話をうかがいました。



「産後のママに寄り添って、安心して赤ちゃんと過ごせる環境を作るのがドゥーラの仕事です。新生児の沐浴など赤ちゃんのお世話はもとより、掃除、洗濯、料理などの家事全般、上の子のお世話など、ママのご要望に応えています。産後は横にならないと回復しませんから、『休息をとっても見えるように』安心して子どもと向き合えるよう状態を整えています。私は6年前にドゥーラという仕事を知り、資格を取って、この仕事を始めました」

ドゥーラは、一般社団法人ドゥーラ協会で資格を取れば、だれでもなれる仕事で、宗祥子代表は、今でも現役の助産師で、出産を終え退院していく母親をみていると、産後うつになる危険性があると考え、退院後のサポートできる知識を持つたスタッフを作りたいと2012年に協会を設立した。

—ドゥーラを目指すきっかけが何かあったのですか。

比較的穏やかです。一方、生後1か月の子を抱えて、明日来てください」と電話をかけてくるママは、疲弊しています。“ガンバッテやってきたんだけど、赤ちゃんが泣き止まない”“ずっと眠れてないんです。ご飯をいつ食べたかもわかりません”という状態。パパが育児参加していても、ふたりで疲弊しています。子育て初心者がふたりそろっているだけで、だれも指導してくれないので、そうなってしまう。目の前で子育てをみせてくれる人が必要なんです。話を聞いてくれて一緒に悩んでくれる人が要るのです」

—そういうママにはどのように接しますか。

「産後すぐつてみなさん興奮状態なので、『休んでください』といつても、遠慮したり、気になることを相談したりと、横になる気にはなりません。でもそのときに育児の不安を聞きだします。沐浴はどうしたらいいですか、赤ちゃんがミルクを吐くんですか。さまざまな悩みをすべて聞く。一通り話してもらった後に、『寝てください』といふと、すんなり寝てくれます。休息を取った後に、子どもがかわいいと思えるような余裕が生まれます」

—ママたちから言われた言葉でうれしかったことは。

「産後すぐから聞わり。1か月たったときに、『子育てどう?』と聞くと、『楽しい、赤ちゃんがかわいい』と返ってきて、私、泣きそうになりました。やつてきたことが間違つてなかつたと。私自身1か月ではそんなふうに思えませんでしたから。ママが笑ってくれるのがいちばんです」



—困ったことは。

「家政婦と勘違いされているかたがいることで、赤ちゃんが泣き止まない”“ずっと眠れてないんです。ご飯をいつ食べたかもわかりません”という状態。パパが育児参加していても、ふたりで疲弊しています。子育て初心者がふたりそろっているだけで、だれも指導してくれないので、そうなってしまう。目の前で子育てをみせてくれる人が必要なんです。話を聞いてくれて一緒に悩んでくれる人が要るのです」

—2人のお子さん育てていて、さらに赤ちゃんを産んだばかりのママを見るのって大変ですよね。

「はい、しんどいときはあります。なので自分の家庭優先にしています。私が笑顔じゃないと私の家族は笑顔にならないし、私に余裕がないと、ママたちのサポートはできない。それをしみじみ感じます。夫と子どもにも助けられることはありますよ。夫は家事も分担してくれて、私が子どもと一緒に寝落ちしてしまうと、お茶碗が洗つてあって、お米も研いであつたり。感謝しています。子どもも、『今日ママ頑張ったんだ』『ううと、よしよししてくれます(笑)。子どもにも頼っていますね』



—のコロナ禍で子育てもしにくくですか。

「出産してもコロナが怖いから、地方に実家がある人は、田舎に帰ってくるなと言われ不安に思うママたちは、どうしても家で孤立する傾向になります。そんなママたちが1か月後に笑顔になれるお手伝いがしたい。私はドゥーラがゴールじゃなくて、今後はママたちが幸せになれるコンテンツを考えていきたいと思っています」

—産後に依頼を受けるママたちはどんな状態なのですか。

「産後すぐに依頼が来るママは、『小さく生まれたけれど大丈夫?』などの心配はありますけれど、大丈夫?」などと心配はあります

「考へてみると私自身、産後うつでした。5歳と3歳の女の子がいるのですが、上の子を妊娠して出産したときに、夫の仕事が忙しく平日は育児参加が望めませんでした。夫が帰宅するまで自分一人で育児をし、家事もする。話す相手もいません。ふとした瞬間、この子の命はすべて私次第と思い、ものすごく不安が襲ってきた。ここで手を滑らせて亡くなったら私のせい。ミルクを詰まらせたら私のせい、という思いが積み重なってノイローゼになつたのです。そのときの育児日記を読み返すと『頑張らなきや、もう限界、逃げ出したい』と書いてありました」

—どうやって解消したのですか。

「月に1回訪ねてくれた保健師さんと話していと救われたのです。このままではだめだ、人と会わなきゃと思い、生後3か月から児童館に通いました。そこで出会ったママ友は、私のように夫が多忙だったり、単身赴任でいなかつたりと、みんなピリピリして、子どもとふたり、ぎりぎりで生活していることが分かりました。なんで子どもを産んだことで、ママが心身ともに追いつめられていくのか。本当はママが幸せに生きることが家庭の幸せにつながるんじゃないかと考えました。出産を機に家にいましたので、ママが幸せになれるような仕事を探し、見つけたのがドゥーラだつたのです」

—産後に依頼を受けるママたちはどんな状態なのですか。

※ドゥーラとは、ギリシャ語で、女性を援助する知恵ある女性の意。

(料金)経験により違うが、佐々木さんの場合、1時間2500円で2時間から。交通費は別途。自治体によってはドゥーラの料金を助成しているところもありますので、居住の区のホームページで確認を。一般社団法人ドゥーラ協会のホームページでドゥーラを探せます。
<https://finddoula.net/>

風流子ども歳時記

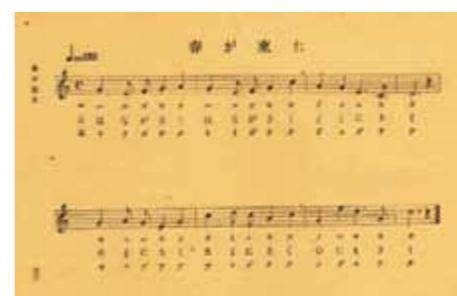
わらべうた研究家 尾原 昭夫



伊豆の春 撮影 尾原 昭夫



うたのほん下 文部省 昭和16年(1941)



尋常小学読本唱歌文部省 明治43年(1910)

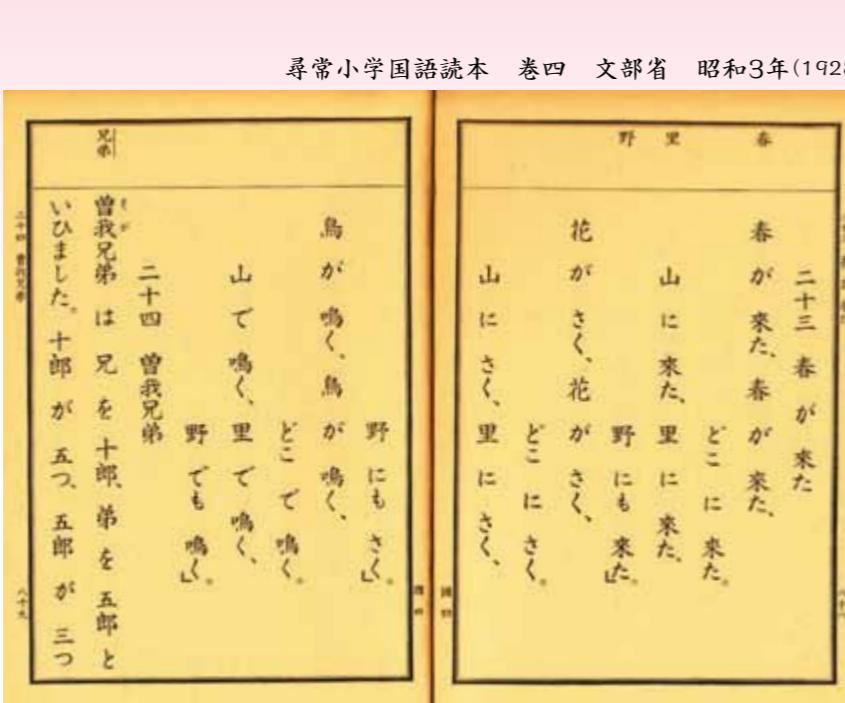
の小川」「おぼろ月夜」などの清らかな歌声が流れる。日本人なら誰しもういたくなれるこれらの唱歌は、じつはもう百年以上も前に偉大な明治人の努力によって創りあげられた子どものための新しい音楽文化であることをよく思う。今みんながうたっている「春が来た」は、もちろん小学校で習った「唱歌」や「音楽」の教科書に載っている歌であるが、私の収集する明治以来の唱歌教科書のなかに、歌詞はほぼ同じでもそれとは別の旋律もあつたことを示していく驚かされる。開成館が明治二九年（一八九六）に発行した『新編教育唱歌集第一集』「野あそび」である。

春を迎えるよろこび

暖冬とはいえ、暗く寒い冬が遠ざかり、明るく暖かい春がやって来るよろこびは大きい。冷たい北風、行く道をさまたげ、車を滑らせ、雪下ろしや雪かきの過重労働を強いる

雪とのたたかいに明け暮れる日々から、太陽がぐんぐん力と輝きを増し、ツクシもフキノトウも、スイセンもツバキもサクラもモモも、きそいあつて生命をふくらませる春へ。小鳥はさえずり空に舞い、人も新たな希望に胸がときめく。学校の窓からは「春が来た」「春

尋常小学国語読本 卷四 文部省 昭和3年(1928)



尋常小学讀本唱歌
文部省 明治43年(1910)

文部省発行の国定教科書に「春が来た」が初めて載ったのは、それより十四年後の明治四三年（一九一〇）の『尋常小学読本卷五』、つまり尋常小学校三年生の国語の教科書で、同じ年にやはり文部省が発行した『尋常小学讀本唱歌』に国語教科書に連動する形で、読本の歌詞に新たに曲をつけた楽譜が載った。それが連綿として今にうたいつがれてきたわけであるが、その国語科と唱歌科が連携するという有機的関係が成り立つていたことは注目にあたいます。開成館の「野あそび」では「歌として読み」、唱歌では「詩として読み」、唱歌では「歌として歌う」という修訂が行われ、曲は「見わたせば」（のちの「むすんでひらいて」と似た旋律）であり、後半に「春が来た」と似た部分もあるにせよ、まったく別ものなのだ。作詞者は高野辰之、前者の作曲者は未詳、後者の作曲は岡野貞一である。高野辰之は長野県出身の国文学者で、



新編教育唱歌集 第一集 開成館 明治29年(1896)

東京音楽学校教授などをつとめ、「日本歌謡史」の大著や『日本歌謡集成』の編集そのほかの大業を成し遂げる一方で、国民的愛唱歌として今も健在の「故郷」「春が来た」「春の小川」「おぼろ月夜」などの作詞もした偉大な人である。また今あげた例すべての作曲は鳥取県出身の岡野貞一で、東京音楽学校教授、文部省尋常小学唱歌編纂委員などをつとめたクリスチヤンである。

『新編教育唱歌集』開成館 明治二九年
「野あそび」

一 春がきた。 春がきた。 どこにきた。
二 山にきた。 山にきた。 野にきた。 さとにきた。
三 花がさく。 花がさく。 野にさく。 さとにさく。
山にさく。 鳥がなく。 鳥がなく。 どこでなく。
山でなく。 野でなく。 さとでなく。



蝶々(玩具)
江戸後期
草双紙切抜帖より



蝶々売り 江戸名所図会
長谷川雪旦画
天保5年(1834)頃



小学唱歌集 初編 文部省 明治14年(1881)

曲はおそらく伊沢修二がアメリカ留学中に音楽教育家メーリソンほかから収集した多くの外国曲のなかの一曲で、スペイン民謡である。金田一春彦氏によれば初めは「ボートの歌」であったという。ここではハ長調で、明治二〇年の『幼稚園唱歌集』ではト長調、明治二九年の『新編教育唱歌集』では二長調と、調を変えてあいついで採用されている。作詞は一番が野村秋足で、本居宣長の孫弟子にあたるという国学者である。金田一氏はその歌詞について『「菜の葉にとまれ」は「菜の花にとまれ」とありたいところ。拍数の加減でこうなつたが、卵を産みつけることを勧めるようでちょっとおかしい。』と違和感を述べておられる。しかしこれはその背景には江戸時代からの小唄(流行唄)やわらべうたがあり、またその玩具まであったのである。

浅草の僧、釈行智が文政三年(一八二〇)に書きした貴重なわらべうた集『童謡集』に次のようにある。

てふてふとまれ。菜の葉にとまれ。
菜の葉がいやなら手にとまれ。

蝶々もとまれ、とんぼもとまれ、
それとーまつた。

と記録する。長短いろいろ、長いものは三尺もある細竹の先につけた紙製の蝶々を、江戸の子どもたちはヒラヒラと飛ばし舞わしながら春のよろこびをうたい遊んでいたのである。

なお、戦後の教科書では歌詞の後半を「さくらの花の、花から花へ、とまれよ遊び、遊びよとまれ。」と替え、それが今にうたいつがれている。

うたのはん下 文部省 昭和16年(1941)

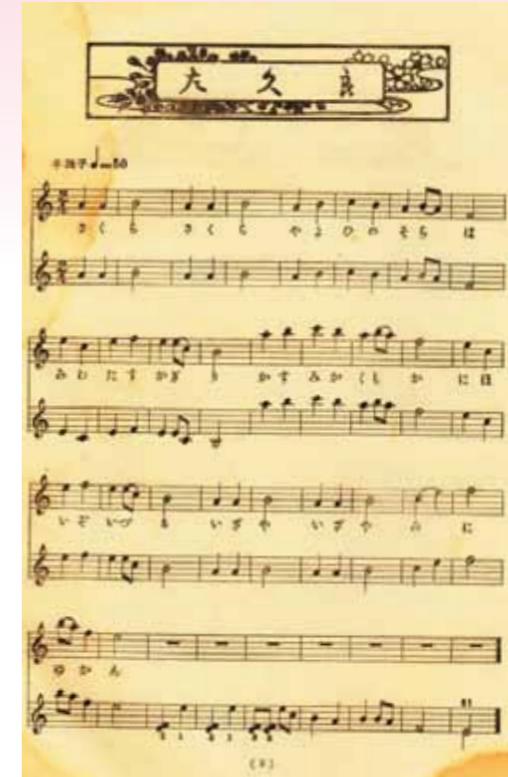


箏曲集 東京音楽学校編
大正3年(1914)

最初に収載したのは東京音楽学校編『箏曲集第一編』で、大正三年(一九一四)の発行である。

「さくら」はもとは箏の初步曲として「姫松小松」などとともに江戸時代から箏を習う子女にうたわれていた歌とされる。それを二重奏の形で五線譜にのせ

た記憶のある「ちようちよう」の歌。この歌が最初にのつたのは『小学唱歌集初編』である。図版に示すように、幼い子ども向けの教科書でも、とてもむずかしい文字であった。



箏曲集 第一編 東京音楽学校 大正3年(1914)

さくら さくら

さくら さくら、野山も、里も、
見わたす かぎり、
かすみか、雲か、朝日に にほぶ。

さくら さくら 花ざかり。

『うたのはん下』文部省 昭和16年

筆者が中国へ行ったとき、現地の箏で演奏してくれた最初の曲が「さくら」であったし、諸外国の合唱団がアンコールにうたうのも多く「さくら」である。本居宣長の「敷島の大和心を人間はば朝日に匂ふ山桜花」をひきいにださずとも、富士山とともに桜ほどに日本を象徴するにふさわしいものはほかにない。さらに、短いけれどその旋律も最初の一節を耳にするだけで胸をうつ、まさにすばらしい日本の代表曲である。

「さくら」はもとは箏の初步曲として「姫松小松」などとともに江戸時代から箏を習う子女にうたわれていた歌とされる。それを二重奏の形で五線譜にのせ最初に収載したのは東京音楽学校編『箏曲集第一編』で、大正三年(一九一四)の発行である。

「てふてふ」蝶々ちようちよう

幼稚園や小学校低学年で誰もがうたい踊った記憶のある「ちようちよう」の歌。この歌が最初にのつたのは『小学唱歌集初編』である。図版に示すように、幼い子ども向けの教科書でも、とてもむずかしい文字であった。

喜多村信節の『嬉遊笑覧』に「宗因が句に世中は蝶々とまれかくもあれ(略)京師八坂の茶屋のことをかける草子に、てふてふとまれの小歌出たり、件の句はこれをとれり。然らば菜の葉にとまれと云ふは昔の小歌なり。」と柳亭種彦の説を記し、その歌をとつた「蝶々とまれ」という玩具に言及している。喜田川守貞の『守貞漫稿』(のち『近世風俗志』として活字化)にも玩具「蝶々」の構造の詳しい説明のあとに、江戸の玩具売りの声を、

「てふてふ てふてふ。菜のはにとまれ。」

なのはにあいたら。桜にとまれ。

桜のはなの。さかゆるみよに。

とまれよあそべ。あそべよとまれ。

『小学唱歌集初編』文部省 明治14年

COLUMN 映画「瞽女GOZE」にみる親と子の愛情

詩人 国見 修二

以上もの旅である。また山形県への旅では、親方は「修行のためだ」と言つて泊まる家を一人でハルに探させた。しかしながら、母親が鍛えてくれたお陰で挨拶などしっかりした行動がとれて、だんだんと認められていく。また、自分の歌が、村人に褒められる場面もある。

瀧澤監督は、ハルさんとの出会いについて

「母と娘：愛と慈しみの物語」

これは、映画「瞽女GOZE」のポスターに、書かれてある言葉である。

瀧澤正治監督の映画「瞽女GOZE」が新潟県で昨年8月から上映され、今年も全国で上映されている。最後の越後瞽女と呼ばれた、小林ハルさんを主人公にしたものである。生後3カ月で失明したハルの将来を案じた母親が、瞽女として自立した生活を送れるように、鬼となつてハルを縫け、ハルも必死になつて応える物語である。

映画では、日常生活のたしなみー礼節、着物の着方や置き方、櫛の使い方などを徹底して母がハルを縫ける。時には頬をぶつた。ハルが「おら、もうできない」というと、母親は「できないなら、おまんまは食べさせない」と、できるまで縫けた。針に糸を通す場面では、畳針の大きな穴通しからはじめ、最後には普通の針の穴に糸が通せるように練習をする。

ハルが「もうできない」と叫ぶと、母親はハルの手を取りながら言う。「指先だけが目ではない。口も舌も心もみんな眼なんだぞ」と。それを聞いてハルは一生懸命に練習して、とうとう針に糸を通すことができた。また、寒稽古と書いて歌声を徹底的に鍛え上げる場面がある。薄着のまま冬の信濃川の土手に立ち、雪の中で一人で早朝から大きな声で歌うのである。夕方も練習する。吹雪の中を必死に一人歌う場面は、観る方も涙が流れ「がんばれー」と声を出したくなる。

今、このような縫、練習をやれば、体罰、虐待だと言われるだろう。当然、体罰はあってはならない。しかしながら、子どもに本当に教えなければならないこと、身につけてほしいことなど、親はそこまでを覚悟して真剣に一生懸命に養育しているのだろうか。ハルは5歳で親方に弟子入りして、瞽女となつた。11歳の時に南会津への旅にでた。理不尽な親方の要求にもがまんして、難儀な80里越の峠を登り南会津へ着いた。家に帰るまで3カ月

生徒は知つていいように思える。愛情ある優しさのある厳しさがほしいと。我慢することなく育てられた子は、本当のことを知らずに生きていかなければならない。親の心に、子に対する本当の深い愛情と優しさ厳しさがほしい。

今、社会問題となつてゐるいじめや虐待には、愛の力ケラも愛情の力ケラもない。虐待することで何も生まれはしないのだ。この映画を見て、昔のような忍耐、がまんばかりするのは、教育的ではなく大人は言うかもしれない。そんなことはない。8月に福島県の中学校で、この映画を全校の生徒に見てもらう機会があった。その中学生の感想の一部である。



「ぼくは、映画を観てとても感動しました。特に印象に残つた所は、ハルさんが吹雪の中で歌っているシーンです。お母さんの愛情がハルさんを強くしたのだと思います。また「苦は楽の種」という言葉を知りました。「楽」した分だけ「苦」が来て「苦」の分だけ「楽」ということが分かりました。目が見えない人を差別したりいじめたりするのはダメだと思いました。この瞽女さんみたいに、ぼくも、人を差別しない人になりたいです」（1年生）

「私は瞽女を観てハルのお母さんが、ハルにとても厳しくしていたのが、母の愛と分かつていても見ていて辛かったです。でもお母さんがハルに厳しくしたお陰で、ハルは立派な瞽女になれてよかつたです。目が見えないけれど、瞽女の人たちは、皆前向きに生きていますが、ハルがまた今度生まれて来られた時は、明るい目をもってきてほしいと思います。」（2年生）

- 旅で辛いのは雨や雪ではない。辛い言葉をかけられることだ。
- どんなに切なくとも、これが親心というもんでしょう。
- 本当の親だからこそ愛情があるからこそ親は厳しくしつけたのだ。

生徒は知つていいように思える。愛情ある優しさのある厳しさがほしいと。我慢することなく育てられた子は、本当のことを知らずに生きていかなければならない。親の心に、子に対する本当の深い愛情と優しさ厳しさがほしい。

ちょうどこの映画と併行するように「瞽女力入門」（玲風書房）を刊行することができた。瀧澤監督に励まされながら、瞽女さんや村人など92の言葉を集め解説した本である。その中で次のような瞽女さんの言葉がある。

- 良い人と歩けば祭り 悪い人と歩けば修行。
- 自分のこころさえ汚さなければ、人様の温かい真心が見えて素晴らしい人に出会う
- 誰もが苦しい時代だったが、人の心はやさしかったね。
- 一人の力ではなくみんなの力です。

当たり前のことだが、生きることは「苦の後に樂あり」「樂の後に苦あり」の両方を体得することなのかもしれない。人間は、人と人とのつながりなしでは生きては行けない。現代は子どもに、大きな愛のもとでの「苦」を経験させない風潮があるよう気がしてならない。この映画「瞽女GOZE」を沢山の方から、そして若い人たちからも是非観ていただき、親と子の愛情について考えてほしと願っている。



YouTubeチャンネル「NPO法人日本ららばい協会」

■ 子守唄オルゴール、YouTube「ららばいチャンネル」
睡眠障害が急増しています。
子守唄で癒してください。

3月より、「YouTube『ららばいチャンネル』を開設し、子守唄オルゴールを配信しました。1日一曲ずつ更新したところ、子どもの寝かしつけとともに、癒されると大好評。

「江戸の子守唄」「中国地方の子守唄」など日本の子守唄をはじめ、「ブライームズの子守唄」「シユーベルトの子守唄」など西洋の子守唄も綱羅。

3月29日からは「赤ちゃんがよく眠る子守唄オルゴール」と題した17曲のロングバージョンも登場。今後もYouTubeでさまざまな子守唄の配信していく予定です。チャンネル登録してくださいね。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というのは、フードバンタリーと呼ばれているもので、ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育て世帯に向けて、食料をお配りしています。浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

活動予定

■「江戸の子育てと子守唄」

開催日:令和3年6月4日(金)

会場:東京・内幸町ホール

2021年度、ららばい協会では、さまざまイベントを企画しています。最初の自主事業がこの公演です。3部構成でお送りしますので、期待してくださいね。(チラシ参照)

■ 2022年、日本子守唄学会発足に向け、準備中。

活動報告

■ 子守唄オルゴール、YouTube「ららばいチャンネル」 睡眠障害が急増しています。 子守唄で癒してください。

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえきました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

3月より、「YouTube『ららばいチャンネル』を開設し、子守唄オルゴールを配信しました。1日一曲ずつ更新したところ、子どもの寝かしつけとともに、癒されると大好評。

「江戸の子守唄」「中国地方の子守唄」など

日本の子守唄をはじめ、「ブライームズの子守

唄」「シユーベルトの子守唄」など西洋の子守

唄も綱羅。

3月29日からは「赤ちゃんがよく眠る子守

唄オルゴール」と題した17曲のロングバージョンも登場。今後もYouTubeでさまざまな子守唄の配信していく予定です。チャンネル登録してくださいね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子守唄オルゴール、YouTube「ららばいチャンネル」
睡眠障害が急増しています。
子守唄で癒してください。

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子守唄オルゴール、YouTube「ららばいチャンネル」
睡眠障害が急増しています。
子守唄で癒してください。

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料をお配りしています。

浅草橋にあるセカンドハーベスト・ジャパ

ンさんより食料品の提供を受け、さらに高砂

にある障がい者作業所、高砂福祉館さんのパ

ンをプラスして、限定15世帯(約50人)にお配

りしています。

ららばい協会の子守唄事業とともに柱である、子ども子育て事業の一環です。子育て中の母親は孤立しがちで、ましてや、このコロナ禍で外出いくことができず一人悩んでいる方もいらっしゃいました。

食料をお渡しすることを通じて、ひとり親のかたといろいろなことをお話し。そのひとときが何かの一助になればうれしいですね。

■ 子ども配食を始めました

「新入学はお金がかかりて大変。ららばいさんは食品をもらうのは、とても助かります」という声が聞こえました。子どもの貧困がささやかれて久しいですが、子どもの貧困は親の困窮です。

2月から、毎月第2、4木曜日に「子ども配食」の日を設けています。子ども配食というの

は、フードバンタリーと呼ばれているもので、

ひとり親家庭やコロナ禍で困窮している子育

て世帯に向けて、食料

江海江浦梅鶴内内岩今今今伊伊い井市泉石石井池池綾阿浅浅秋阿赤青青相相
村老藤井野野野野井村元井藤東出塚原川坂本田乃部野香山川坂山木川川
名 沢 幹 緒
清 昭正弘祐経綾 威直要守信は存廣子美昭義幸正 輝健俊忠文み司笙實厚
香子明子介一子玲 寛一 子く祐 佐子雄一美ひ彦 二彌正どり 子
葉 郎子 弘子 びき

〔個人〕

協会の活動にご協力くださいました皆様、ご寄付を有効に使わせて頂きます。これからも日本らばい協会への応援をよろしくお願ひ申し上げます。温かなご支援を本当にありがとうございます。

木木北北北木木菊菊河川川川神神門片片春柁加温小蒂小小小長奥岡岡大大大大
邊下森村瀬崎池池原端島下山長山山岡日原賀勢山津野貴田山本村野貴嶋川泉
実 倉 山 崎
円由邦三 公啓弥博み直俊則利 榮雅千宏年 孝芳良 静洋暁糸喜健 隆育孝幸勉
慈美彦郎 二子生之さ子六子江万作文穂美 昭子郎一美雄子二子久 司子造枝
子 子 美 乃 紀 穂

須鈴須杉菅菅末神白白清七澤沢佐佐佐坂坂坂酒斎今小小兒國小小劍国久木
藤木崎浦原佐廣 石石水字田田藤藤藤々元野野口井藤野山村林玉分泉泉持見世村
原秀木
博喜晃あ芳 照俊源晶睦泰敬茂美久哲 威美紀佳董淑七啓正久圭牧宗晶英修ア賢
久一い徳道純 次子夫美 子惠光郎愛佐恵多志美子重子孝恵司子孝一子ニキ史
恵夫郎 美子子江
榮子

(敬稱略)

服初畠長橋橋萩則西西西西南中中中中永永中長永奈富泊徳辻塚千谷谷田田竹武高高高高高袖関巣砂
部澤谷本爪野武山前川尾部山元元村村見堀根繩田加田永本葉藤上邊中之井松橋橋野島山野山
順川和容下幸
弘映一昌八恭清幸幸敏京ま和寛み修雅金公徳徹宏千亮靖富男雅子幸伝正昌邦安真榮寛宏佳展和榮博悟一
志子郎芳重子司子子之子き彦どり治子太信代昭鶴子士博子人賢典子典美子子奈子子真
博子邦子

山山山山山谷山安安門も村村村武宮宮三三三松松増前本本堀古古藤藤藤藤藤藤藤藤福福廣平平彌彌治原原濱
下崎川川折藤口元江奈り田上井藤地川上浦浦原代田田間條田川川森本本村田島澤木永田畠野沼田田口 晴信秀
耕秀敏忠哲順正稔和邦い正眞繁元勝久章義敏章洋善千涉秀チ洋貞久純淨志嘉寛昇隆教孜心俊明美道る直男千
司甲明雄子人也治さ巳奈雄昭美子道孝昭子弘惠夏太工文二美雄彦保子昌宣正香興子り之枝子
む美子郎子郎子子

脇 李 米 吉 吉 柚 湯 結 谷 山 山 山 山 山
田 野 田 田 洞 川 城 村 本 本 根 中 谷
順
巧子 宗由 博 康 れ 天 啓 ヤ 絵 光 宗 えり子
彦 稔 美 子 い 鼓 子 工 津 恵 一 子

[团体]

善水産株式会社
株式会社サンハート
株式会社致知出版社
株式会社日本トータルライフ
坊田かずまの会

日本ららいばい協会の活動は、皆様からのご寄付に支えられております。すべての子ども達が希望に満ちた未来をつかめるよう、皆様のお気持ちの託された寄付金を、様々な活動にいかしてまいります。

ご寄付をいただきまして皆様に小冊子「ららいばい通信」、イベントのご案内、また活動報告をお送りさせていただきます。どうぞ時期や金額に関わらず、年間を通してご寄付をお願い申し上げます。ご寄付への詳細は、日本ららいばい協会事務局までお問い合わせください。

◎子守唄について疑問に思うこと・知りたいこと、子育てについて思うこと、親子の思い出話などお送りください。思い出の写真なども募集しております。

◎あなたの町の地域活性化のための活動や育儿支援活動、町ならではの活動など紹介したい情報がございましたら、ぜひひよお教えください。「ひよい通信」を通じて地域の情報交換をしませんか?

◎皆様と共にららばい通信をより良いものにしていきたいと考えております。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

◎子守唄について疑問に思うこと・知りたいこと、子育てについて思うこと、親子の思い出話などお送りください。思い出の写真などを募集しております。

◎あなたの町の地域活性化のための活動や育儿支援活動、町ならではの活動など紹介したい情報がございましたら、ぜひひよお教えください。「ひよお通信」を通じて地域の情報交換をしませんか?

◎皆様と共にひよお通信をより良いものにしていきたいと考えております。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

日本レッスンはい協会事務局 編集人・樋田朝子

東京都葛飾区高砂3-13-13 三井ビル一階
TEL 03-6458-0283
FAX 03-6458-0284
メール info@lullaby-japan.com
URL <https://lullaby-japan.com>